

テーマ 「都市と人間」・・・「都市とは」「人間とは」を問い直す。川崎という具体的なフィールドに立脚しながら「都市と人間」のあり方を追求する。

目的 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアムを設置する。（条例第1条）

事業（条例第3条）

- ・考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品の収集、保管、展示等
- ・資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催
- ・市民の文化活動の助長、奨励及び指導
- ・博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等
- ・資料等に関する説明及び助言
- ・資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布
- ・施設及び設備の利用に供する

市民ミュージアムの役割（平成24年4月以降継続）

◎市民が文化芸術を享受する場として機能するとともに、市民の文化活動の拠点としての役割を担う

収蔵品や研究成果、関係する人々をも資源として活用し、博物館・美術館としての専門性に立脚して、国内外の文化等と関わりを持つ。

◎文化・芸術を活かしたまちづくりに貢献する

地域のまつりやイベントなどを通じた地域の活性化を図る拠点施設として情報を発信し、産業や観光の振興を図る。

◎新たな交流の場としての市民ミュージアムの価値を高める

上記の取組により、地域への愛着と誇りを生み、さらにはまちや人々の元気へとつなげる。

◎さまざまな市民が文化芸術に触れる、創造する機会を創出する

市民ミュージアムの活動を積極的に公開・情報提供しながら、子どもから高齢者、障がい者などの参加や文化芸術に関連する施設・団体等との連携を図る。

博物館としての役割

- ◎川崎の歴史・伝統・文化に関する情報を継続的に収集・調査・研究し、その成果を市民にわかりやすく伝える。
- ◎現在の川崎を中心とした情報を記録・分析し、これまでの調査研究の成果をあわせて確実に将来に向けて継承する。
- ◎川崎市の近現代史・産業関連の歴史と先進的な取組を続ける現在の都市川崎を広く国内外に発信する。

美術館としての役割

- ◎現代につながる20世紀後半も含めた同時代の美術について、調査・研究・収集・展示等の活動を進め、現代を捉え、表現し、問う現代美術の可能性を広げる。
- ◎川崎にゆかりのある芸術作品・作家を紹介する美術館としての活動を行ない、その成果を市民と共有する。
- ◎文化都市川崎の裾野を広げるとともに、すべての人々に芸術の楽しさや新たな可能性を発信し、市民ミュージアムと都市川崎の魅力を向上させる。